



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成28年1月～3月)

- 「平成27年度教育文化活集会」
主 催 J A 佐賀
と き 平成28年1月27日
テ ー マ J A 自己改革と教育文化活動
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「平成27年度農政問題研修会」
主 催 J A 十和田おいらせ
と き 平成28年2月13日
テ ー マ J A 自己改革と教育文化活動
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「山の手九条の会例会」
主 催 札幌市西区山の手九条の会
と き 平成28年2月27日
テ ー マ TPP大筋合意後の情勢と農業及び消費者
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「平岸九条の会例会」
主 催 札幌市平岸九条の会
と き 平成28年1月17日
テ ー マ TPP大筋合意後の世界と日本
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「平成27年度北海道農協学校非常勤理事研修会」
主 催 一般財団法人北海道農業協同組合中学校
と き 平成28年1月27日
テ ー マ 地域農業自己改革の必要性とその戦略
講 演 黒澤 不二男
(当研究所・顧問)
- 「同友会大学」
主 催 北海道中小企業家同友会
と き 平成28年2月18日
テ ー マ 北海道農業の現状と課題
講 演 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)
- 「平成27年度北海道有機農業技術交換発表大会」
主 催 NPO法人 北海道有機農業研究協議会
と き 平成28年3月3日
テ ー マ 生産者と消費者を結ぶ取り組みの推進と広がりを求めて
コ ー デ イ ナ ー 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)
- 「第一〇八回村づくり・人づくり報徳研修会」
主 催 一般財団法人北海道報徳社
と き 平成28年1月29日
テ ー マ 二宮尊徳の人間像と業績の現代の解釈
講 演 黒澤 不二男
(当研究所・顧問)
- 「十勝創生を考える座談会」
主 催 日本に貢献する十勝シンポジウム実行委員会
と き 平成28年2月19日
テ ー マ 十勝の価値をより輝かせるために
講 演 竹林 孝
(当研究所・特別顧問)
- 「TPP国内対策説明会」
主 催 訓子府町
と き 平成28年1月19日
テ ー マ TPP大筋合意と北海道農業
講 演 太田原 高昭
(当研究所・顧問)
- 「土地連胆振支部役員研修会」
主 催 北海道土地改良事業団体連合会胆振支部
と き 平成28年3月3日
テ ー マ 人口減少と国際化の中

での農業・農村の振興
講演 竹林 孝
(当研究所・特別顧問)

○「定期研究会」

主催 NPO法人 地域自治
体問題研究所

とき 平成28年3月8日

テーマ 厳しさの中にも新たな
動き―札幌市農業の現
状と展望

講演 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「都市農業フォーラム」

主催 札幌市経済局農政部

とき 平成28年3月16日

テーマ 札幌市農業のこれから
を考える

ファシリテーター
飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

人事異動

<退任> 特別研究員 田代 重彦 (3月30日) ※全共連北海道本部 普及部へ

<新任> 特別研究員 三津橋真一 (4月1日)

第26回 (平成28年度) 通常総会の開催

開催日時 平成28年5月26日(木) 午後1時より

開催場所 北農ビル19階 第2～第3会議室
札幌市中央区北4条西1丁目

提出議題

議案第1号 平成27年度事業報告並びに収支決算について

議案第2号 平成28年度役員報酬額の決定について

議案第3号 平成28年度会費の賦課及び徴収方法(案)について

議案第4号 役員を選任について

通常総会 特別講演会の開催

開催日時 平成28年5月26日(木) 午後2時30分より
(通常総会終了後)

開催場所 全日空ホテル 3階「鳳の間」
札幌市中央区北3条西1丁目

講演テーマ 「魅力ある地域を興す女性たち」

講師 一般社団法人 JC 総研
基礎研究部 主席研究員 小川 理 恵

西村博司氏 （当研究所顧問、元理事長）が

4月4日に逝去

北大農学部卒、ホクレン参事・常務を歴任後、民間出身の副知事として道政改革や産業振興などを担当された。

平成12年～18年まで当研究所の理事長、退任後は顧問に就任。

◆ 編集後記 ◆

●新しい年度がスタート。時代の変化は早く、毎年のように新しい波が押し寄せてくるが、新入生たちが抱いている夢や希望まで損なうことのない世の中になっていくことを期待したい。

●函館に新幹線がやってきた。大フィーバーかと思いきや、地元や鉄道ファン以外はいたってクールな印象だ。新函館北斗駅から函館、そして札幌方面は増便するが、その他エリアではなんと七九本も減便し、失望感も少なくなつたようだ。民間会社とはいえ、収支を支える経営安定基金は国民の税金である

のに、意見は

反映されない。

低金利政策の

あたりとも言

えるが、預貯

金ばかりでな

く、まわりま

わって国民負

担が強いられ

ている。道東

では、唯一釧

網線だけは増

便したようだ。

JR九州のな

なつぼしとは

言わないが、何がしか目玉となるようなものに結び付けたいものだ。

●自宅でペットを飼っている人は多いと思うが、今や空前の猫ブームのようだ。数で上回る犬を逆転しそうな勢いにある。ペットシヨップの来客が増え、ネコ本や関連商品も売り上げが伸びている。ネコノミクス効果絶大で、二・三兆円との試算もある。ネコ派、イヌ派と好みも分かれるが、猫の毛は柔らかく、触っているだけで犬よりも幸せホルモンが多く出るといふ説もある。内ではペット、

DATA FILE

関連事項 / DATA

一般社団法人 JAバンク北海道サポート基金
〒062-0041
札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号
☎ 011 (836) 3361
Fax 011 (853) 3020

栗山町役場
〒069-1512
夕張郡栗山町松風3丁目252
☎ 0123 (72) 1111
Fax 0123 (72) 3179
http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP: http://www.chiikinouken.or.jp
E-mail: office47@chiikinouken.or.jp

外ではのどかな農村で癒しを得るのはいいが、

●今年の桜の開花は全国的に平年より早く、北海道も早そうだ。ちょうど農繁期でもあり、皆が皆のんびり花見というわけにもいかないが、室内の密閉空間とは違い、花や新緑の景色に囲まれた環境のなかで作業できることも、農業の魅力のひとつだ。本年度もそんな農業や農村の魅力、本当の価値の理解促進につながる会報発行に努めてまいりたい。

（片岡 省二）